

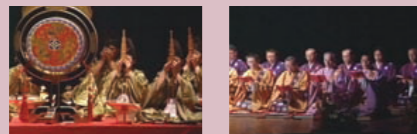
# とく べつ しょう みょう こう えん 特別声明公演

こく りつ げき じょう  
国立劇場にて

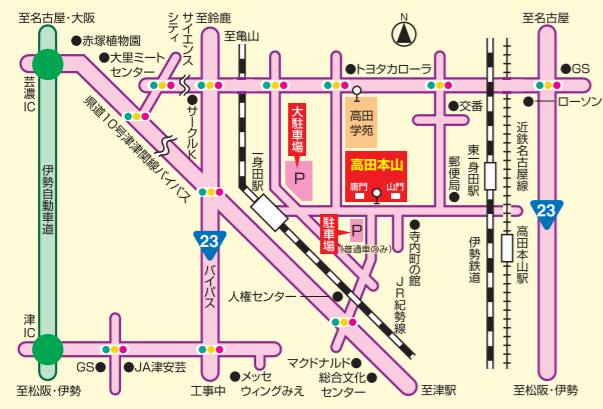
開催決定

2009年4月2日

2007年10月、三重県総合文化センターにて開催され、大きな反響を呼んだ「声明公演～伝承五百年の響き～」が、いよいよ2009年4月2日、「国立劇場」で行われることに決定。



しょうさい ごじつ はつびょう  
詳細は後日発表いたします。



## せんじゆじ 専修寺へのアクセス

- JR…名古屋駅～亀山駅～一身体駅～徒歩5分  
～津駅(西口)～タクシー10分
- 近鉄…名古屋駅～高田本山駅～徒歩15分  
～津駅(西口)～タクシー10分
- 自動車…伊勢自動車道去濃IC～東へ10分



たが、それを二段と飛躍させたのが第十世真慧上人で、東海・北陸方面に教化を拡げると共に、朝廷の尊崇を得て、専修寺は皇室の御祈願所ともなりました。一身田の専修寺はその真慧上人が伊勢国内の中心寺院として建てられたものでしたが、関東の本寺が兵火によって炎上したりしたため、歴代上人がごちひに居住されるようになつて、ここが本山として定着しました。一身田専修寺の伽藍も二度の火災に遭いましたが、いっしょに再建され、檀信徒の崇敬はますます高まりました。聖人の数多い「真筆類は、今も大切に伝持され、教団の誇りとなっています。



へんせつなしか

親鸞聖人と専修寺  
親鸞聖人は、関東各地を御教化中に明皇天子の夢のお告げを得て、五十四歳のとき、栃木県芳賀郡二宮町高田の地に「宇を建立し、専修念仏の根本道場とせられました。この本尊には、長野の善光寺からお迎えした一光三尊仏を安置し、聖人門弟の中の一師であった真仏上人が管理に当たられました。ここを中心とした教団は、関東各地の檀信徒の中で最も有力な教団となり、京都へ帰られた聖人からは、しばしば自筆のお手紙や、自分で書き写された書物などが送られて来ました。その後、高田教団は次第に発展し、専修寺は「本寺」と呼ばれて全国から崇敬を集めるようになりまし

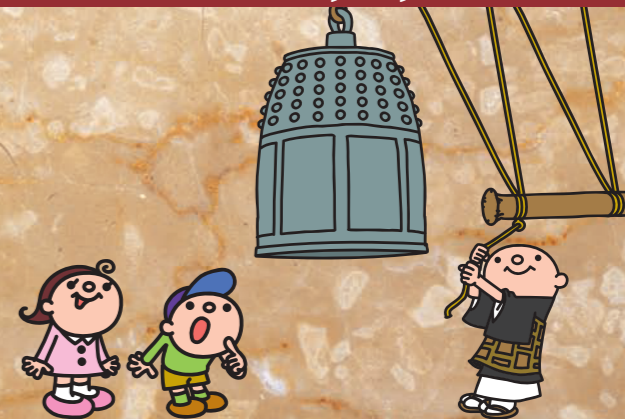
## たか だ ほん ざん けい だい あん ない ず 高田本山境内案内図



# 専修寺

# せんじゆじ

SENJUJI



しん しゅう たか だ は ほん ざん  
真宗高田派本山

三重県津市一身田町2819

宗務院 TEL.059-232-4171 FAX.059-232-1414

進納所 TEL.059-236-5701 FAX.059-236-5702

ホームページ <http://www.senjuji.or.jp/>

